

第29号

2010. 5. 20

日本歯科技工士連盟機関紙

れんめい

発行 日本歯科技工士連盟
 東京都新宿区市谷左内町21-5
 日本歯科技工士会館内

発行人 和田 章

編集 日本歯科技工士連盟
 発行日 平成22年5月20日(木)

西村まさみ候補予定者を推薦決定!! 第二十二回参議院選比例代表選出議員選挙で

平成二十一年度 第二回評議員会

日本歯科技工士連盟(会長 中西茂昭)は、去る三月十九日(金)午後三時より日本歯科技工士会館(東京・市谷)において、平成二十一年度第二回評議員会を開催した。冒頭、中西会長より昨年九月以降の活動報告があり、政治状況の変化も踏まえつつ、政権与党に対し、歯科技工に係る懸案について直訴という形で陳情した旨、それを受けて、第二十二回参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者の推薦を決定していただきたい旨の要請が行われた。評議員による審議の結果、賛成多数で民主党公認で日本歯科医師連盟が支援する西村まさみ候補予定者を本連盟としても推薦することとした。なお、第一号・第二号議案とも賛成多数で可決された。

平成二十一年度第二回評議員会は、阿部和夫副議長(山形)の氏名点呼から始まり、定数六十名に対して五十八名の出席を確認し、(後刻二名の到着も確認)議長に報告された。

これを受け、藤原俊彰議長(大阪)が、日技連盟規程(新編)の改訂について、上野博評議員(新潟)の意見を述べ、両名が指名され、両評議員の選出方法を議長に諮った。

その結果議長一任となり、上野博評議員(新潟)の意見を述べ、両名が指名され、両評議員の選出方法を議長に諮った。



▲平成21年度第2回評議員会

動省通知の法令整備に向けた渉外活動、歯科技工委託行為の法令記載による健全な委託・受託を実現するための渉外活動、機関紙「れんめい」の発行とITを活用した広報・宣伝事業の継続、組織拡充活動の実施の七項目について丁寧な説明が行われた。

議長はここで会長挨拶を受け、次期参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者として、民主党公認で日本歯科医師連盟が支援する「西村まさみ」候補予定者の日技連盟推薦についての意見を議長に求めた。

評議員からは、多くの質問が出され(質疑応答要旨別掲)、執行部より丁寧な説明が行われた。

その後議長は、質疑応答が終了したことを議長に確認し、表決に入る旨を議長に告げた。表決の結果、賛成多数で「西村まさみ」候補予定者を日技連盟として推薦することが決定した。

引き続き議長は、第一号議案並びに第二号議案の一括上程を執行部に求めた。

第一号議案は東賢副会長から、社会保険歯科診療に係る歯科技工対価が歯科技工担当者にとって正当に届くための渉外活動、歯科技工士国家試験学説試験の全国統一試験実現に向けた法令整備の渉外活動、適正な教育を実現するための歯科技工士教育養成機関の教育年限延長に向けた渉外活動、歯科技工所の構造設備に関する基準と指針を示した厚生労働省通知の法令整備に向けた渉外活動、歯科技工委託行為の法令記載による健全な委託・受託を実現するための渉外活動、機関紙「れんめい」の発行とITを活用した広報・宣伝事業の継続、組織拡充活動の実施の七項目について丁寧な説明が行われた。

第二号議案は国府田知生副会長より、例年に増して厳しい予算編成であった旨と効率的な良い予算執行を目指す旨の説明があった。

続いて議長は予算決算委員会報告を鈴木隆夫委員長(東京)に求めた。鈴木委員長からは、本年二月五日に開催された予算決算委員会の内容報告が行われた。

その後、議長は議長に質疑応答を求めた(質疑応答要旨別掲)。

質疑応答が行われる中、日本歯科医師連盟から蒲生副会長と、西村まさみ次期参議院議員通常選挙比例代表選出議員候補予定者が来館され、日技連盟から推薦を受けたことへの御礼の挨拶があり、退出された。

議長はここで、引き続き質疑応答を行うことを議長に告げた。ひとしきり質疑応答があった後、議長は表決に入る旨を議長に告げ表決を行った結果、第一号議案、第二号議案とも評議員の賛成多数により承認された。

その後議長は協議事項に移る旨を議長に告げ、執行部より提案を求めた。

古橋博美理事長から、次

中西会長挨拶要旨



ことになりました。そこで、日本放射線技師会、日本臨床衛生検査技師会、日本視能訓練士協会、日本臨床工学技士会、日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本作業療法士協会という七団体が陳情をいたしました。私どもとしては、とにかく歯科技工料について何とかしたいという思いで陳情も重要意思確認が必要に思っています。その後、二月二十六日に小沢幹事長に御案内のように、参議院選を直訴状を直接お渡ししました。控えた段階で、本連盟として、そのときは七団体五十人ぐらいで行かせていただ必要がございますので、きました。その状況については、各都道府県の連盟の昨年九月以降の経過報告を、各都道府県に早速に御案内を差をさせていただきます。

前回の評議員会では、本連盟として次期参議院選挙まで従前どおりの方向に進めていこうということになりました。しかし、日本歯科医師連盟の比例選挙対応も揺れ、最終的には、既に決めておられた候補予定者が降りられるということになりました。

本連盟といたしましては、御本人を伴って日も九月以降、自民党の議員が来館したり、私も党員が来館したり、私もお見えにの会合に出たりいたしました。強力的な野党として、歯科技工料金問題等について質問していただきたいとお願いをいたしました。民主党もお願いをいたしました。民主党もお願いをいたしました。参議院という状況でございます。選挙の支援を強く要請されたいという状況でございます。

三月十五日、小沢幹事長にお見えに、私どものこれからの対応でございますが、まずは比例代表選出議員選挙において、見が求められる、評議員から始まる三年から二年にする改正案、役員等について質問があり、役員より回答があった。

日本歯科医師連盟から要請のあった西村まさみ候補予定者について推薦をするかどうかをお決り頂きたいと存じます。

選挙区におきましては、我々の二十年来の懸案を少しでも二歩でも前進させるべく、民主党に評価を得られるような選挙体制を組みたいと思っておりますが、都道府県歯科医師連盟におかれても比例代表と選挙区とはいささか選択が違ふということもございまして、そういったことも踏まえながら、第一義的には民主党を推すということで臨んでいただき、やむなき場合はそれなりの御判断を選挙区において進めたいだけにと考えております。

今、日歯連盟も評議員会を開催しております。本評議員会においてどういふ議論がされるかという注目を注いでいます。もし推薦いただけたならば、この場に西村候補予定者が来て、是非皆さん方にご挨拶をさせていただきますという申し出がございます。本日はそういうことを踏まえながら、限られた時間ではあります。皆様方の有意義な議論の場となりますことを改めてお願いさせていただきます。ご挨拶いたします。どうぞよろしくお願ひ致します。

議長はその後、報告事項がないことを執行部に確認し、平成二十一年度第二回評議員会は閉会した。

